



**【倉敷大橋の効果】**

市北西部に新たな道路ネットワークが形成され、倉敷市街地と船穂・真備地区を結ぶ移動ルートが川辺橋から倉敷大橋へ移行しました。

交通量の分散により移動に伴う所要時間が短縮され、渋滞の緩和や市街地や商業施設へのアクセスがよくなりました。

**効果の試算結果（道路5区間）**

- 便益の発生：約13億円／年  
(走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少便益の合計)
- 環境影響効果  
CO<sub>2</sub>削減量：約 3,100t/年  
NO<sub>x</sub>削減量：約 10t/年

※交通量調査実施日：平成28年10月25日(火)7:00~19:00(平日 昼間12時間)

## 交通量調査結果

調査箇所	小型車(台)			大型車(台)			合計(台)			
	H22	H28	増減	H22	H28	増減	H22	H28	増減	
川辺橋	16,325	12,410	-3,915	1,320	980	-340	17,645	13,390	-4,255	-24 %
倉敷清音線	18,924	16,250	-2,674	2,010	1,593	-417	20,934	17,843	-3,091	-15 %
倉敷西環状線	8,700	4,872	-3,828	1,104	846	-258	9,804	5,718	-4,086	-42 %
倉敷大橋	—	3,995	—	—	237	—	—	4,232	—	—
船穂橋	12,060	11,839	-221	614	450	-164	12,674	12,289	-385	-3 %

平成28年10月25日(火)7:00~19:00(平日 昼間12時間)